

1950年版
続篇

現代用語 の基礎知識

正篇未掲載の必要項目と時局語の追加

- 社会の動きの理解のために
- 共産主義・細川嘉六
 - 通商貿易・上坂西三
 - キリスト教・赤岩栄
 - 新制教育・海後宗臣
 - 近代文藝・中島健藏
 - 近代美術・内田巖
 - 株式用語・野田全治
- 正篇以後の時局語の追加
- 政治用語・中村哲
 - 法律用語・戒能通孝
 - 経済用語・木村禮八郎
 - 労働用語・大河内一男
 - 社会用語・進藤次郎
- 現代科学の理解のために
- 原子物理学・嵯峨根瞭吉
 - 化学用語・稻村耕雄
- 家庭生活の良識のために
- 住居用語・今和次郎
 - 家政用語・氏家寿子
 - 洋裁用語・松井直樹
 - 美容用語・中村敏郎
 - ラヂオ用語・南江次郎
- 世界の新聞と地名と商品
- 世界の新聞・井上勇
 - 世界の地名・飯塚浩一
 - 世界の商品・猪谷善一
- 生物用語・湯浅明
- 天文用語・萩原雄祐
 - 气象用語・和達清夫
 - 工学技術・朝比奈貞一
 - 最新医学・森於菟
 - 最新薬学・清水藤太郎
 - 性と性問題・安田徳太郎

昭和十三年一月廿八日第三種郵便物認可
昭和廿四年十二月十日発行 昭和廿四年四月十一日運輸省特別扱承認雑誌第九七四号

特別號

時局月報社
発行



1949年の世界の動き

一九四八年

十一月 ○二日、米大統領選
 挙トルーマン再選○十四日、
 エリザベス女王、王子出産○
 二十日、西獨と佛間に通商協
 定成立○二十五日、中國行政
 院長に孫科指名○二十七日、
 エール、英連邦脱退。

十二月 ○一日、國連、世界
 人權宣言案可決○五日、日露
 通商協定成る ○十二日、國
 連、韓國政府承認○二十六
 日、ソ連軍北鮮撤兵完了○二
 十八日、ルール協定成立。

一九四九年

一月 ○一日、米、韓國承認
 ○五日、ト大統領領教書フエア
 ・デイール新政策發表○七日
 マーシャル米國務長官辭任、
 後任はアチソン○十三日、中
 共、和平八條件提示○中國行
 政院、無條件停戦申入れ○二
 十一日、蔣總統辭職○二十二
 日、中共軍北京入城。
 二月 ○九日、米陸軍省ゾル
 ゲ事件真相發表○十一日、米

統合參謀本部會議々長にアイ
 ゼンハウアー元帥任命○十二
 日、ハンガリー政府、米公使の
 國外退去要求○二十七日、シ
 ャム首都で内亂○二十八日、
 ドレーパー米陸軍次官辭任、
 後任はヴォルヒーズ。

三月 ○一日、東獨、コミン
 フォルム参加△B50米重爆機
 無着陸世界一周○三日、フォ
 レスタル米國防長官辭任、後
 任ジョーンソン○四日、モロト
 フソ連外相辭任、後任はヴィ
 シンスキー○二十一日、中國
 何應欽内閣成立○二十四日、
 シヤム新憲法發布。

四月 ○二日、北平和平會談
 開始○十七日、エール共和國
 新發足△中共軍、英艦アミシ
 スト號砲撃○廿一日、中共軍
 揚子江渡河○廿三日、南京陥
 落○廿六日、サリヴァン米海
 軍長官辭任後任マシニエズ。
 五月 ○五日、歐洲會議成立
 ○六日、西獨臨時政府成る○
 十二日、ベルリン封鎖解除○

廿二日、フォレスタル前米國防
 長官自殺○廿三日、パリで四
 國外相會議開幕△西獨憲法公
 布○廿五日、中共軍上海占領
 ○廿九日、何應欽内閣總辭職
 六月 ○七日、ロイヤル米陸
 軍長官辭任、後任グレイ次官
 昇格○十一日、閩錫山内閣成
 立○十二日、チエコ、ユーゴ通
 商停止○十四日、ソ連副首相
 テヴオーシャン任命○廿日、
 四國外相會議終る○廿六日、
 韓國獨立黨主金九暗殺さる。

七月 ○八日、米英加三
 國藏相會議○十一日、蔣
 總統、キリノ比大統領ベギオ
 防共會談○十三日、英
 連邦藏相會議○二十一日、米
 上院北大西洋條約批准。

八月 ○二日、インドネシア
 連邦共和國樹立○四日、北鮮
 軍四千餘南鮮に侵入○五日、
 米政府對華白書發表○八日、
 キリノ比大統領渡米、ト大統
 領と會談開始○十日、米三軍
 統合法發効○十一日、米統合
 參謀本部總長にブラッドレー
 任命○十二日、ソ連、ユーゴ
 と絶縁○十三日、内蒙に反共

自治政府發足○十七日、シリ
 ア、ヒ大統領射殺。

九月 ○七日、西獨共和國初
 國會開會○十日、中共、廣東總
 攻撃命令○十二日、西獨初代
 大統領にホイス當選、首相に
 アデナウ○十四日、對日講和
 促進に米英兩外相意見一致○
 十八日、英ポンド切下げ斷行
 ○二十一日、中華人民共和國
 成立宣言○二十三日、ト大統
 領、ソ連に原子爆發を確認○
 二十七日、中共の首都北京と
 決定○二十八日、ソ連、對ユ
 ーゴ友好條約破棄○三十日、
 ポーランド、ハンガリー對ユ
 ーゴ條約破棄通告。

十月 ○二日、ソ連、中共政
 權承認○七日、東獨政府樹立
 宣言○十一日、東獨大統領に
 ビーク選出、首相にグロート
 ヴォール○十四日、中共軍廣
 東無血入城○二十七日、ビド
 ー佛内閣成立。
 十一月 ○スエーデン科學學
 士院、ノーベル物理賞を湯川
 秀樹に授與○九日、十一日、パ
 リで三國外相會議○十四日、
 比島大統領にキリノ再選。

續篇の編集について

(1) この續篇は昨年十月に發行した「現代用語の基礎知識」に頁數の都合で掲載出来なかつた廿四部門にわたる各方面の用語を収録したものである。廿四部門を社會常識用語・科學常識用語・家庭常識用語・世界の新聞地名商品の四ツに大別した。目次を一見しただけで共產主義用語と通商貿易用語が米ソのごとく對立したり、キリスト教用語と新制教育用語が仲よく隣合せに住んでいたりするあたりは、その時の用語は、そのときの社會情勢の端的な反映という事實を痛感させられる。

(2) 以上の新規部門に加えて前篇に掲載した政治・法律・經濟・勞働・社會の五部門についても、新しい時局語を出来るだけ追加して、本特集を各種受験用に活用しようとする讀者の便宜をはかつた。

(3) 概観すると、前篇が時局問題を理解するための基礎的用語をひろく網羅したのに對照して、この續篇は文化的新知識の色彩が鮮明である。正續兩篇合せ持てば、新聞雜誌や日常生活の中に出てくる現代用語の理解には、ほとんど、ことかかないと思う。

(4) 用語の配列は、普通のごとき五十

音順に従わず、前篇と同じく、各部門各項目別に配列し、例えば共產主義用語の「哲學思潮」の項をよんで行けば前の言葉と後の言葉との間に自ら脈絡が通じて、共產主義の哲學が大體わかるというように編集した。従つて讀者は、読み去り読み來り、用語という列車の窓を通して、次から次へ展開する現代風景の送迎に興味つきない想いがするであろう。辭典は「ABC順に配列された宇宙」という諺がある。これは事象の流れに沿つて配列されたユニークな「よむ事典」である。なお「引く辭典」としての利用も考へて、卷末に五十音順の索引をつけた。

(5) 各項の監修者執筆者は何れも知名の實力者である。寄せられた原稿が豫定の倍近くに達したので、如何にして一部門あたりの語數と解説とを割愛し、出来るだけ多くの部門の代表語を、一冊に収録しようかと苦心した。それにも拘わらず頁數に制限があり、遂に、市河三喜博士監修の「外來語辭典」と松方共同通信社理事監修の「世界人名録」その他異彩ある幾ツかの部門を、自由國民近刊號にゆずらざるを得なかつたのは遺憾である。解説諸氏に誌上で、おわびをした。

(6) 社會の動きの激しさに比例して

この動きを表現する新しい用語も次々と造出され、反面、多くの死語廢語が生じて、古い辭典の類は急速にその機能を失つてくる。「現代用語」の前篇、一度、世に出るや、幸い戦後出版界の金字塔と過評され、類書實に百餘種を算し、まさに漢和辭典の時代去つて現代語辭典の時代來るの觀を呈したのも、決して偶然ではないであろう。

(7) 我々はバイオニアのよるこびをもつて、さらに一步進めたねがいを持つてゐる。この「現代用語辭典」の形式が從來の漢和辭典に代位したように、膨大な百科事典の形式にも代位しようというねがいである。既にこの續篇にも若干この意圖を試みたが若しあの何十冊の膨大で高價な百科事典の内容が廉價な一冊の中に手際よく集約されれば、一般大衆には實に便利な國民的事典の價値を持つにちがいない。我々は毎年改刷して、且、L・メンケンの「アメリカン・ランゲージ」におとらぬ綜合良識年鑑の型を創造することを目標とし、一九五一年版に於ては、正續兩篇を合せ、全部、稿を改めた決定版を世に問うつもりである。切に讀者諸君の批判と註文をのぞみたい。

一九四九・一二

本誌主筆 長谷川國雄

社會用語の解説

監修・進藤次郎
執筆・渡邊眞四郎

社會用語について

進藤次郎

『言葉は生きてゐる』とよく言われるが、『生きてゐる言葉』があれば當然その反對に『死んだ言葉』もあるわけだ。ところで面白いのは生物の場合と違つて言葉の世界では、この所謂『死語』や、あるいは『死語』でないまでも殆ど忘れられていたような言葉が、突然何かのはずみで息を吹き返すことがしばしばある。そしてこのことは『社會語』の場合が最も多いのは明らかであろう。

最近特殊な社會の特殊な言葉が盛んに新聞や雑誌にあらわれ、これが次第に一般の會話の中に常用され出しているが、かゝる言葉を流行させる原因の一つが、たしかにジャーナリズムに在ることは否定出来ないが、しかし、そんな特殊語を使つていた一部の世界が、色々の原因からそのワタを或いははずされ或いは自らははずして、一般社會と同化しようとして來たことにあるのではなからうか。

その意味で私は最近の社會語の中にクローズ・アップされて來たエロ・グロ的新語に注意をはらつてゐる。

政治風景

三バン 選挙戦で當選するに必ずつきまものといわれる三つの條件のことで、ジバン

(地盤)カンバン(看板)肩書きや社會的地位や名譽のこと)カバン(鞆と金のこと)の三つのバンをとつて三バンという。

二當一落 廿四年一月の衆議院議員選挙の前後にいわれた言葉で、「金のかゝらぬ選挙」として選挙公營が實施されたが、その實は二百萬圓程度運動費に使わねば當選しない、百萬圓ぐらいでは落選する、と取沙汰されるに至り二

當一落の言葉が出た。廿二年の四月選挙當時には七當五落(七十萬圓で當選、五十萬圓で落選)といわれたが、インフレの進昂具合が選挙にも現われている。

オブライト演説 他人の説を丸呑みにして自分の説のように得々と演説すること。

人民裁判 法律によらずして、集團が人を裁くこと。

最近とくにナホトカの人民裁判が問題になつてゐるが、これは抑留者たちが歸還に當り非民主的な者や抑留中非人道行爲を行つた者などを裁判したものだ。が、參議院在外同胞引揚委員會では、この人民裁判のために歸還できるものが

「留されたり、報讐的なリンチに合わされたりするので、その裁判の意義、構成、効果などの實體を調査し、引揚促進という大きな見地からその障害とならぬよう善處することになった。

つるし上げ

ソ連からの引揚者のいう、大衆による糾弾のこと。大體歸還に際してナホトカ港で、いわゆる民主教育の徹底していないもの、反動者などを取圍んで糾弾したものだ、去る七月廿五日舞鶴に入港した昭和廿四年の第二次船團第五船の信洋丸で支給された乾パンに虫がわいていたという理由で引揚者たちが船長、事務長、船醫らと呼ばつけこの「つるし上げ」をやつた。同船長が二千名の同船引揚者を業務妨害と脅迫容疑で京都地檢舞鶴支部へ告訴したのは有名。

ノルマ

ソ語。ソ連の労働者が一日の労働時間八時間

内でやりとげなければならぬ生産責任量のこと、ソ連の労働法典第七章に生産高基準(ノルマ・ヴィラポトカ)として規定されている。ノルマを果たさなかつた場合は報酬がへらされ、逆にそれ以上働らいた場合はそれに應じて割増の報酬がもらえる。

ラーゲル

ソ語。ソ連抑留者たちの入つてゐる收容所のこと。その建築様式は場所によつて異なるが、なかでも中央の通路をはさんで庄が二段にはられ、二階のうち下半分は土中にうまつてゐるのが多いといわれる。

ダモイ

ソ語。歸還のこと。ソ連抑留兵士たちが寝てもさめても口にするのが「ダモイ」だという。

取材拒否

新聞報道をできないようにするためそのニュースとなるべき材料を與えなくすること。七月以來、産別會議、全遞労組などが一般

新聞に對抗してゐるのはこれで、その理由は「ブル新聞は事實を卑曲して報道するから」というが、これに對し新聞社側は「眞實の報道をおそれる共産黨の小兒病的な偏向」だとして問題はそのままとなつてゐる。全遞上諏訪中央委員

會、同東京全國大會の取材拒否では公開を迫る記者團と數度の現地交渉が持たれたが、全遞側はあくまでこれを拒否したため記者團は會場の隣家から擴聲機の音をきくながら中の様子を知つたという一幕もあつた。

社會風景

浮貸し

銀行や信用組合など金融機關の勤務員が内職としてやる不正金融。勤務先の金融機關の窓口で受入れた客の預金を、その機關の正式な勘定を通さず他人に貸付け、利息のサヤをかせいだり

或はその預金の預入先團體などの幹部と共謀して他人に高利で貸付け、利息のほか多額の謝禮をもらふなどその手口はいろ／＼ある。東海銀行の八千万圓浮貸し事件は有名。

トイチ

長期間の貸付けはほとんどなく短期間で暴利を得ようとするものが多く、十日で一割の利子を取るのを俗に「トイチ」三割とるのが「トサン」と呼ばれてゐる。大たい貸付けける時この高利を天引きしてゐるのがこの方面の常識だという。最近では週一割の「シチイチ」という怖ろしいのも現われた。

配給出張

薄給を嘆く官公官吏の有力な収入源となるものに出張があり、官廳によつては計畫的にその局、部、課係ごとに順々と出張させて、その収入源の恩恵に浴させようとする方法、これを配給出張という。

麻雀戦術

役得の門とい

われる官公廳の係官を買収して、有利な商賣をやるうといふ商人が、さいきん現金や物品を贈ることが危険と知つて麻雀に誘ひ、故意に役人達に勝たせ、賞品や賞金を贈つてその本來の目的を遂げようといふ戦術。

二重帳簿 脱税方法あの手、この手の中で一ばん多いのがこの手で、本物の帳簿のほかにもう一冊をつくつておく。本物の方を「表帳」インヂキ簿を「裏帳」といわれてゐるが、最近では國稅査察部もこの手の裏をかき、發覺してゐる例が多い。二重帳簿で業者の一番頭を悩ますのはその裏帳の隠し場所、中には一晩中、川につかつたまゝ裏帳をかゝえていたといふ例もあるほどだ。

トンネル會社 利益をかぐすため妹姉會社を作り、物品を賣買する形式で、利潤をかぐすインヂキ會社のこと。

プレス・キャンペーン
(英 Press Campaign) 新

聞が社會正義の立場に立ち、世の惡徳を紙面に暴露し、徹底的にその肅正のホコ先きを一點に集中してそれと戦ひ、その惡徳と不正の根源を根絶する運動をいう。一八七〇年ごろ米國ニューヨークのタマニールに巢喰つていたトウイドという大ボスが、行政機關から裁判官までも手中に握りわがもの顔に振舞つていたのに對し、當時の言論機關が世論の協力のもとに敢然とプレス・キャンペーンを行ひ、遂にこれを肅正したことは有名だが、最近日本で起つた本庄事件、その他地方ボスの惡徳の追究、吉村隊事件の眞相追究などプレス・キャンペーンに屬する。

空の町會 世界各地を巡歴し、訪問先の國の關心深い問題をとり上げて放談討論會を行う旅をつづけるアメリカ

放送團一行の名前。日本へは八月末G・Vデニー會長以下廿七名が訪日、アーニーバイル劇場で日本側代表二名、アメリカ側二名とで「日本は如何にすれば自活できるようになるか」といふ議題で討論會を行つた。

空とぶホテル 十月中旬からサンフランシスコ——羽田間を週二回就航しているパニアアメリカン航空會社の世界に誇るクリツパー機のこと

で、その第一號機はサザン・クロス(南十字架)號。製作費百五十万ドルの巨額をかけたボーイング航空機會社製で機内は二重甲板、上部には客席、更衣室、化粧室、炊事場、特別ベッドを備えバールもある。七十五人乗り。サンフランシスコ——羽田間の所要時間を従來より十時間短縮して廿三時間となつた。

血液金庫 不時の災害、事故に備え、しかも梅毒輸血

事件などのような不幸を防ぐため、廿三年以來、厚生省、東京都衛生局を中心に進められていた計畫が軌道に乗り、輸血對策委員會の審議の結果本年八月、全國的組織を持つ日本赤十字社の事業の一つとして發足することに決定した

もの。豫め十分調査した各型の血液を日赤の全國五十五ヶ所の直營病院、六十ヶ所の診療所の冷蔵庫に貯藏しておき必要なときは醫師の處方一つで血液を手に入れる仕組。アメリカでは血液金庫が澤山あり、大病院が連合して一つの血液金庫を持つてゐる。

眼球銀行 角膜に濁りが生じると、眼が見えなくなるが、角膜の濁つた部分を切除したあとに、死後間もない死體の眼球から取つた透明な角膜を移植すると、五日後には移植角膜が癒着して、眼が見えるようになる。米國ではすでに一九四五年にアイ・バン

ク(眼球銀行)が設立され、眼球提供を申出た者が死亡した場合、その眼球はアイ・バンクを通じて、飛行機で届ける制度が確立されている。わが國でも、中村康博士らにより角膜移植手術が完成されて最近アイ・バンクの必要がさげばれてきた。

強制斷種

優生保護法の規定によると、精神病など悪質な遺傳による不良な子孫が生れるのを防止するため、斷種手術を行うことになつてゐる。ところが手術をうけるものが、これを拒否した場合、本人の意志に反し手術を強制しうるか、という疑問にたいし、法務府は、基本的人權を尊重し、手續を慎重にした上で、強制斷種しうると最近、見解を發表した。狂人や片輪が少くなり民族の改造に大きく貢献するものと思われる。

4L運動

アメリカの4L運動の向うをはつたもので

四つのLとは愛(Love)、幸福(Luck)、自由(Liberty)、誠實(Loyalty)の頭文字をとつたもので、精神復興と世界平和のための運動。

ノー・モア・ヒロシマ

米國の作家ジョン・ハーシイの名著「ヒロシマ」が世界的反響を呼び、昭和廿三年米國カリフォルニア州のオークランドに本部をおく世界平和國際委員會の發起で起つた、「廣島をくり返すな」の運動のこと。この運動の目的は、世界に平和を維持するために挺身し、そのため廣島を世界平和のシンボルとして平和會議場、原爆被害の資料を集めた博物館、平和研究所などを建設し『世界平和の廣島』をつくらうとするもので、世界の平和主義者、キリスト教徒などの賛同を得ている。

踊る神様

終戦の年、山口縣田布施町に住み、農業を営んでいた北村サヨ女(五〇

才)の創始した珍奇な新興宗教天照皇大神宮教いわゆる踊る宗教にあつては同女は大神様とされ、そのカン高い聲で歌い出し、喜怒哀樂千變萬化の表情をこめて睨目しながら踊る神様の姿はまさに日本的な新名物となつた觀がある。現在卅五萬の信者を持つと稱されている。

老いらくの戀

歌人川田順氏(當時六十八才)が元京大助教中川與之助氏の前夫人、鈴鹿俊子さん(四十才)と熱烈な戀愛をし、昭和廿三年末、死を決して家出をしたが、その時友人に送つた『戀の重荷』と題する一連の詩の中に「若き日の戀は、はにかみて、おもてあからめ、壯子時(をさかり)の、四十歳(よそぢ)の戀は世の中に、かれこれ心配れども、墓場に近き老いらくの、戀は怖るゝ何もものなし」とうたつたことから、年老いてからの熱烈な戀

愛の俗稱をいう。川田氏は俊子さんと正式に結婚、小田原市に新居を営んでいる。

一一〇番

犯罪檢舉のスピード化と防犯の萬全を期して廿三年秋から使用され出した警察の電話呼出し番號で自動式のものは一〇番のダイヤルを回して「ドロボー」と呼べば警察ではその事件の發生地がわかり、手動式電話は「ケイサツ」と呼べばよい。さいきん消防署の呼出し番號の一一九番もできた。

T.M.(Traffic Men)

交通違反の取締りを強化するために警視廳が初めた交通違反通報員のこと、特定の人に委嘱し、それ〴〵市中に配置し、もし交通違反、自動車、車輛のあつた場合はそのナンバーと時間、場所、違反の害を所定の印刷ハガキで通報させ警視廳から通告し、數回やつても直らぬときは處罰する仕組になつてゐる。米國が元祖。

ガチヤ萬・コラ千 大阪

附近で専ら用いられている警官の懐柔策を皮肉つた新話。すなわちヤミの手入れなどで警官にふみこまれたとき(ガチヤは警官、サーベル時代の異名)一萬圓そつとつかませればO・K。「コテツ」と同じく警官からおとがめをうけたときもこれまた千圓也を贈ればO・Kなどの噂が流れてからこの語が生れた。

安樂死

日本流に言えば慈悲のカイシヤク。あるいは安死術、慈悲殺ともいわれ、死ぬばかりに苦しんでいる病人(特に親族)が、安樂な、人工的な死を希望する場合、醫師やその身内の者が苦痛なく死を與える場合をいう。

昭和廿四年九月、この問題が東京地方裁判所に起つたが病床の母の願いに従い毒を飲ませて尊屬殺人罪に問われたその被告は、公判の途中から尊屬殺人は不適當であるから

「囑託殺人」に變更するよう裁判長から檢事に命ずるといふ異例の措置がとられその成行は注目された。安樂死については古來、歐米でも法理上宗教上道徳上の深刻な課題となつてゐる。

街頭風景

ステート・フェア

(英 State Fair) 米國で毎年八月末、各州が主催して開く農村の共進博覽會のことである。一番のお祭り騒ぎをする楽しい行事。各農家から出品される農産物や家畜の品評會、主婦たちの手藝品評會、各種の見世物興行などがこれを飾るが日本でも廿四年四月、大阪近郊のあやめ池で初めてのステート・フェアが開かれたが、米國のような本當の農村の行事としての内容をまだ持つていない。

ギフト・チエツク(Gift)

(Check) 本年四月から東京の某銀行がはじめた贈答用小切手のこと。もとくアメリカでは全國で四百以上の銀行がこれをやつておる。進學、婚禮、誕生日、卒業祝いなどそれらの用途に應じてきれいな圖装の入つた小切手で、金額はいくらでもよく、手数料は十五圓。要するに現金で包めば小額では……というところをこの小切手によつて小意氣で氣がきいていふという相手方の満足と効果をねらつたもの。

ミラー・フォト(Mirror-Photo)

終戦後大阪の某デパートで始めたのが起りで、「鏡つき寫眞」のことだが、前面に三面鏡があつて、客に自由なポーズをとらせ、そばにあるスイツチを押すと、鏡の穴からのぞいているレンズに映つて、自動的に寫眞がとられる装置になつてゐる。このほか足の下にあるスイツチを踏

む装置のものもあるが、いずれもアベック用に歡迎されてゐるのは同じ傾向だ。

ロード・サイン

昨秋東京に現われた新しい廣告戦術一名「廣告ゲタ」ともいう。この装置は、脊中にかついだ金屬性の水オケから、足にはいて底にフェルトで廣告文字がつくつてある金屬性のゲタに水が流れるようにできており、乾いた歩道、とくにアスフォルトを歩いたときに廣告文字の跡がついて行くという仕組。これと似たもので、「ロード・スタンプ」というものもある。これは廣告文のできてゐる金屬性の大きなスタンプ様の器具の中に、石灰が入つており、その尖端を押すと、白い文字が歩道に浮き出る仕組になつてゐる。

ピクチャフィルム(Picture)

天然色立體幻燈と譯し自動的に連續された五臺の映寫機で舞臺に丸く弧をつつく

た五つの畫面によつて立體感を出すという仕組になつていゝる最近日本へもCIE圖書館によつて現代アメリカを紹介する「モダン・アメリカ」が公開された。

ヨルバイト 學生のアルバイトが次第に進出して、街頭の物品販賣、事務、輕重労働などからその範圍が夜間の内職、すなわちバンドマン、ダンサー、社交喫茶の女給、あるいは酌婦、果てはパンく〜ガールに下落するものも現われるという状態。ヨルのアルバイトを總稱してヨルバイトと呼ばれるに至つた。

アベック・センター (Avec Centre) 男女の密會場所として著名な所。終戦後とくに東京では皇居前廣場を筆頭に濱離宮、日比谷公園、後樂園などは屈指のアベックセンターである。

實驗劇場 アメリカに現在數千もある實驗劇場をモデ

ルとして、去る五月CIEのきも入りで東京有樂町のピカデリー劇場で歌劇「フィガロの結婚」で開場した。現在の演劇は興業資本家によつてまづ營利本位に上演され、役者や脚本家もその利益の上で支配されるが、真によい演劇をつくり、舞臺と觀客を密着させて行くために營利を極端に制限し、觀客のある限り公演を續けるが、その反對に客がなければ初日でも打切ることになる。普通は廿五日公演制このために出演者、劇作家の上演料も公演前の約束でなくその収入の歩合で拂われる。

てんやわんや 關西に古くからある「てやわや」という言葉がなまつてこの言葉になつたという説が一番權威がある。「われ勝ちに先を争うさま」という意味より、現在は、てんでんばら〜と勝手なことをすることから生ずる混乱と事態收拾の見通しのつ

かないというような意味に用いられる。

傳助トバク 最近競馬場や街頭で見られるトバクの種類で、この方法には種々あるが、一番多いのは金をハル場所が東京、名古屋などの驛名を書いた圓盤の中心に短かい棒が支えられており、これを廻して止つたとき、その棒の尖端の指す場所を當りとするもので、これが驛傳式になつてゐる所からこの名が出たという説と、宇都宮警察署の増田傳助という刑事がこのトバク犯を檢擧したというところから出たとする説もある。

洋モク モクは煙草の隠語。洋モクは外國煙草のこと。煙草のことを「バタ」ともいう。特に手巻き煙草を「イタドリ」の葉などで作るから「イタコ」ともいう。

黒と白 黒は犯罪の事實のあること。白は犯罪の事實なく容疑の晴れること。

娛樂風景

ハイアライ(Hairan) スペインの代表的スポーツで、エジプト、比島、上海、天津南米でも賭券を發行し、競技とスリルで觀客の血をわかしている。方法は五人一組のチームから一人づゝ選手をだし大理石の壁を三方にめぐらした室内コートで、右手にしばりつけた長いバスケットで鉛のしんの入つた小さいボールを、目もとまらぬスピードで打ち合い得点を争う。最近東京でもハイアライ協會設立の計畫が起つたが、まだ實現の域に達してゐない。

競輪 政府が昭和廿三年に自轉車競技法を施行して、地方財源のねん出と自轉車工様の奨勵を企てたが、小倉市を先頭に大阪、堺、西宮、大宮、川崎等で大衆的な人氣を集めて盛んに行われている自

轉車競争。競馬は馬の飼育、設備が莫大だが、競輪はその點が簡單で、馬券よりも車券の拂戻しは通例一割多く、買いい安。たゞ八百長騒ぎの多いのは困つたことだ。

ダービー(Derby) 毎春、府中競馬場で行われる優勝競争である。一八七〇月イギリスのダービー伯爵が首唱で始まつたもの。出場馬はサラブレッド種四歳馬で二歳から四歳までの間に前後四回正式に登録されたものに限り競争距離は二千四百メートル。我國では昭和七年から始り廿四年は十六回目である。

フォーカス 競馬で單勝式(賭馬が一着の時のみ拂戻される)や複勝式(賭馬が三着までに入ればよい)に對し一着、二着の的中を賭ける連勝式のこと。昭和廿三年秋、中山競馬から始つた。

ダークホース (Dark horse) 競馬で優勝をさらつ

た未知の馬を云う。實力は判らぬが充分に警戒すべき強者の意味で「リーグ戦のダークホースは」などいわれる。
ハンデ 競馬で各馬の實力に應ずる負擔量を臨時に定めて行う競争。ハンドキャップ Handicap の略。「君と僕ちやハンデでなくちや無理だよ」など用いる。

競犬 上海やマニラで盛んに行われているドッグ・レースで、一周四百メートルの競走路を、電氣仕掛けの兎が走り、これを追つてグレイハウンド種の獵犬が走るもの、我國でも地方財政の収益のため競犬を行う計畫がたてられている。

リイチ麻雀 普通の麻雀では自摸(ツモ)が一巡しないうちに手の内が揃つたとき「リイチ」を宣言するのだが、リイチ麻雀ではテン牌すれればいつでも宣言できる。點が倍になり、最近専ら賭け麻

雀で用いられている。

満貫 麻雀の最大得點のこと。三元和(サンユアンホ)四喜和(スーシーホ)字一色(ツイイソー)清老頭(チンラオトオ)四暗刻(スーアソコー)國士無双、九連寶塔(チウレンパオト)など感激的な満貫である。壓倒的勝利の意。

ルーレット(Roulette) 回轉する圓盤の内部に數字をしろした穴があつて、その上を轉がる球が止つたところの數字で勝負をする賭博である。モナコ其他で盛んに行われていたが、終戦後我國でも盛んになつた。

ガチヤンコ ハンドルを押し球を弾き上げ、長立方體の箱の側面の穴に落し入れることによつて勝負をする。戦後この方法は流行して、子供達もパチンコと稱して菓子などを賭けている。

ビンゴ 家庭的な雰圍氣

を樂しめる一種の賭博遊び、百の升目のあるボックスを圍んだお客が、順次、ボールを升目の中に投げて、その數字を手元のカードの數字と合せ一番先にあがつた客が、ビンゴといつて客の賭金を一人でもらう遊び、誰の投げたボールで上るか分らず、上つた客は、大喜びで、あげてもらつた人に禮をいうなど、夏の宵を樂しめる、日本ではまだあまり知られていない。

圍碁名人戦 圍碁は將棋とちがつて今まで名人戦はなかつたが今度日本棋院が「名人位に關する規定」を發表、名人になるには九段制による九段位を獲得した上で、十八局平均十五點の名人戰對局を行つた上で、更に本因坊戰に優勝し、名人選考委員會の銜衡により名人位を得る。現在藤澤九段が唯一の候補者。

パドミントン 印度に發しイギリスに傳つた室内スポ

ーツ。テニスのより小さく軽いラケットでネットをはさみバースという追羽根を打ち合うゲームで、我國にも大正年間に移入され、老若男女の樂しめるスポーツとして戦後大いに流行するようになった。

額縁シヨオ 裸體をみせるための額縁で型どつた活人畫式なシヨオ。終戦後エロ・レヴェウ流行の波に乗つて、丸木砂土演出の帝都座レヴェウから始つた。

スクリプト・ガール (Script Girl) シナリオにな、臺本にない臺詞としぐさを記録して編輯の資料を作る記録係の女性。

ストリップ・ガール (Strip Girl) 裸體をみせるエロ・シヨウの着物を脱いだ裸の踊り子のこと。

シルバ (Silba) 太平洋戦争末期からアメリカで流行した社交ダンスの一種。男女が合つたり離れたたり、身體を柔

軟に動かしたりする煽性的な陽氣さを持つているので下品になり易い。

エース (Ace) トランプや賽ころの「一」のこと。轉じて最優秀者をエースと呼び野球チームではピカ一的投手をエースという。

二枚目 歌舞伎番附で書きだしは立役、二枚目は色男役、三枚目は道化役となつていゝが、色男と道化をかねた男に對しての新造語。

ニュー・フェイス (New Face) 東寶爭議のあとでこの新造語を用いて新人映畫スターを賣りだしたので、専ら有望な新人という意味で用いられていゝ。ラヂオやレコードではニュー・ヴォイスなどいゝ字も使つていゝ。

トリオ (Trio) 音樂の三部型式、三部合奏。三幅對を云う。そこで三人組、三巴をトリオと呼んで與太者トリオお喋りトリオと云う。

マリオ・ネット (Mario-net) 人形芝居に使う操つり人形。指で踊らせる人形おギニョール。

レパートリー (Repertoire) いつでも演奏や演出ができる用意のできていゝ音樂や演劇の種目。演奏者個人でも一座の場合にも總目錄として用いられる。

自由定員制 映畫劇場の觀覽席を全部豫約席として、いつでも自由に空いていゝば予約席に悠つくり座つて觀られるようにしたもの。

バレリーナ (Ballarina) イタリアに發し、フランス、ロシアで發達したビレー(古典舞踊)の女性舞踊手のこと

コスチューム・プレイ (Costume Play) 豪華な衣裳美を以つて觀客の目を娯ませる映畫。

M. P. E. A (Motion Picture Export Association)

アメリカ映畫を占領地に見せるための映畫輸出協會の略稱セントラルはその日本支社で各社が各支社を開設するまでの代行機關である。

スポーツ・センター (Sports Centre) 本年東京芝濱松町に開設されたもので一萬余人を收容し得る大體育會館。

リーグ (League) 參加チームの間で行われる總當り試合のこと。アメリカの大リーグ(Major League)は、米國プロ野球中最強の夫々八チームよりなるナショナル・リーグとアメリカン・リーグのことで、その優勝者間で戦われるワールド・シリーズ(World Series) は世界選手權をかけた大試合。過般來朝したシルズ軍は、大リーグより下級の小リーグ(minor League)であるホースト・リーグ(Coast League)の中の一チームである。☆☆